

令和7年度椎葉小学校 第回学校運営協議会(R8_2/12)

1 本日の日程説明の後に、田爪校長のあいさつを行いました。この中で、学習発表会並びに150周年記念事業に係る謝辞も述べました。

また、今回の協議の中で、今年度の「学校評価アンケートにおける自己評価・学校関係者評価書」に関する内容があるため、委員の皆様はその趣旨を説明し協力を得ました。

その後、各学級のいつもどおりに、授業の様子を参観いただきました。



(田爪校長のあいさつの様子)



ことばの教室では、個に応じたさまざまな学習内容に励む子どもたちの様子を見ていただきました。

2組では、卒業に向けた国語の学習内容の様子を見ていただきました。



3・4年(算数)、個に応じたさまざまな学習内容に励む子どもたちの様子を見ていただきました。



1年生(生活)は、凧揚げに向けての最終チェックをして試し飛ばしの準備をしました。本番は保育所生との交流です。



2年生(算数)では、1000を超える数について、タブレットを使った習熟の様子を見ていただきました。

5年生(英語)は、自分のヒーローを誰かに伝えるための学習でした。



6年生(理科)では、電気の働いてソーラーカーの仕組みを、委員の皆さんに説明していました。



令和7年度椎葉小学校 第回学校運営協議会(R8_2/12)

◆ 学習発表会、150周年記念式典・祝賀会をご覧になり、椎葉小学校が200年に向けて「続けていく」べきこととは何でしょうか？

終わってみると、次へとつながる記念式だったと思います。これまで、先生方・保護者・地域の方々が熱意をもって続けてきた証。そして、子どもたちは宝であるとも改めて感じました。学校の価値が高まっている。今後も、です。学校は情熱をもって教育にあたってほしい150周年の実行委員会の協議に参加し、“本当に大丈夫か？”と思うこともありましたが、関係者の“あきらめない姿勢”が成功に導いたと考えています。

記念事業の受付業務をしましたが、多くの卒業生・多くの年長者の方が来られていた。他の地域では見られない貴重な光景で驚くとともに、学校の重要性も感じました。各地区において、学校に対する思いや雰囲気の違いが違います…だから、そのことを考えつつ地域も学校に関わっていかないといけないし、主体者でありたいと思います。

記念式典のおかげで、多くの同窓生らと、椎葉小・故郷について語ることができました。学習発表会で各地区にあった学校の校歌を児童が歌ってくれました。各地区住民の方は、いろいろな思いを馳せていたと思います。また、子どもが後ろの方まで聞こえる大きい声で発表していました。次年度も期待大です。



学習発表会から記念式典・祝賀会まで終日に渡り椎葉小のことを考えることができました。各地区の学校の校歌が聞けたり、学校の様子の写真が見られたりと懐かしさを感じられました。また、発表の声はとても出ていたと思う…以前は声が聞こえないこともありましたが、子どもたちが自信をもっていただけではないでしょうか。

これから続けてほしいこととして、地域との親睦・交流の場は続けてほしい。一昨年度からPTAで地区懇談会を実施してきました。「あいさつ」に関する保護者評価が低いのは、スポ少では元気が良いが、上椎葉の店等で会うと確かにその時より下火な感じがする。一方で、不審者対応もあり難しいのも認識している。

学習発表会で、1年生が保護者を巻き込んでいたり5・6年の発表もはつらつとしてとても素晴らしいものでした。是非、子どものいない地区でも、発表会のお知らせをしてほしい。また、これまで地区の運動会に児童に来てもらっているが、それより前に交流の時間・機会をつくってほしい。

150周年記念式典については2月8日朝刊の投書が“みんなの総意”。昔は劇や合奏が多かったが、学習発表会の中身の変化を感じています。今回、方言についての発表があった。梅尾や上椎葉の方に教えてもらっていたようだが、他の地区では、また違う言い回しもあります。

これまで「チャレンジしての失敗はかっこ悪くない」が生かされたのではないのでしょうか？以前は、発表会で補助マイクを使っていました。



年度当初から、1年生や2組児童の成長を感じます。これも、日々の教育を通してからだと思います。校長先生「子どもができること」を先生方が引き出してくださっている話にあったように「自信があると大きな声になる」ことを子どもたちは体現してくれていました。

令和7年度椎葉小学校 第回学校運営協議会(R8_2/12)

◆ 学習発表会、150周年記念式典・祝賀会をご覧になり、椎葉小学校が200年に向けて「続けていく」べきこととは何でしょうか？



話題は変わりますが、校外学習で商店街を移動する児童の集団を見かけました。その際、引率の先生と児童の列に間がありました。信号もある中でしたが、その先生は一度も児童の様子を振り返ることなく移動されていました。残念な思いになりました。

節目を大切にすることは今後も続けてほしいです。それは、児童が一人になったとしても、その思いです。

多くの参加があった150周年記念式典だったので、学校の様子をパネル展示する等してほしいという声を聞きました。また、20～30代の卒業生の参加は少なく、年長者の参加が多い。来られなかった校長もいたと思います。校長先生の写真等も掲示されていてもよかったのではないのでしょうか。

これまで実行委員会の中で、パネル展示も話題に上がりました。しかし、学習発表会を中心に現在の**児童・保護者も大切に考えた式典・祝賀会のプログラムを創出していきました。**

以前の「劇主体」の発表会から、「研究発表会」のような学習の成果を発表する内容に変わってきている。その**内容は、レベルも年々上がっている**と感じている。

先ほどからある声の大きさですが、**先生方の指導力が大きく関係しているのではないのでしょうか。**その**積み重ねやチャレンジが、物怖じしない大きな声になっていた**と思います。

今回の運営等におけるデータは永久保存できるようにしてほしいです。

【田爪校長】

第1回から、この会は大変勉強になる時間となりました。いいお話だけでなく、**学校として改善すべき視点も多くいただきました。**特に「チャレンジするのに何が必要か(大切か)」というテーマで熟議した際は、学校経営において大変貴重な御意見をいただきました。この協議を皮切りに、第2回・3回を経まして、本日も貴重な御意見を多くいただきました。明日の全校集会で**子どもたちに、そして職員には時間を見つけて本日の皆様の想いや考えを伝えたい**と思っております。

また150周年につきましては、**一人一人の苦労や積み重ねの結集によって成功したのではないかと**考えております。3回に渡っての協議、ありがとうございました。次年度もよろしくお願ひ申し上げます。

【まとめ】

- ①子どもたちの姿や学校の取組により見られる成長は、「地域の宝」である。
- ②そのために、**学校は情熱をもって教育活動を継続していくことが大切である。**
- ③6公民館区にある、歴史・文化に思いを馳せることで、**交流や親睦の機会を設けていくことは、学校に求められている。**
だからこそ、各地区的違いを学習や活動に取り入れると、より質の高い教育に繋がるのではないかと。
- ④**チャレンジをとおして失敗するかもしれないが、その繰り返しにより改善・修正し、物怖じしない人財へと繋がることを共有した。**